



(※保護者等へ配布したものです)

新園舎が完成したら、幼稚園全体が1つの村のようになって皆さんを迎えます

育児がっらいお母さん・お父さん来て下さい
静かに聞き、本当の心を話すということ
みんなの笑い声や泣く声が聞こえるということ
今のままの自分で「いい」と思える場所

「アトリエ」：自分を表現する時間をゆっくり過ごす空間

アトリエや園舎・園庭で大好きな「こと」や「もの」を見つけよう

絵画・絵本・ストーリー・劇・音楽・夢・冒険
ダンス・礼拝・かけっこ・粘土・花・クッキング

建築を準備する途中で眠れない日もありました

それでも努力して夢を実現させたい、信念で生きたい、子ども達を信じたい
今は確信の中で建築を進めてきました

レッジョを知って

私達の保育の核心、これで「いい」

自分を信じること、それは神さまを信じること

きっと夢はひらける

育児を楽しいと思えるように

どうか訪ねてください

小さなわが子といっしょに小さなしょうえい村へ

(レッジョとは、イタリアのレッジョ・エミリア市のこと。今、レッジョ・エミリアの乳幼児教育が世界的に注目されています。)

認定こども園しょうえい幼稚園 園長 石川 望

新園舎設計への思い

栗田建築設計室 栗田征夫

今回「認定こども園しょうえい幼稚園」新園舎を設計するにあたり、石川 望園長と相談しながら私なりに次のようなイメージを温めて取り組みました。

春：花がきれいに咲いている。小鳥たちが鳴いている

夏：庭に出れば、くねった小川で水遊び

秋：日差しが中庭の壁に葉っぱの影を躍らす

冬：チョット冷たい風に当たりながら渡り廊下をいそぐ

四季：自然を感じながらの日々

部屋に入ると外の気配を感じながら、みんなとゆっくり過ごしてる

窓から木々やあの子の部屋の窓も見える

床は木、腰も木だ

壁にはホタテ貝の粉が塗ってあるんだ

天井にも木の骨組みが見えている

広い遊戯室(ホール)は天井も高くて薪ストーブもあるよ

トイレもなんか楽しそう

幼少時代を思い出して上のようなイメージを膨らませました。

これを大人の表現に変えてみると

日々刻々変わりゆく自然（光と影と色と香り）そして 全ての生き物の成長を感受する心とからだを育む。また、文化と冒険、集合と個の両面を備え、一人ひとりを大切に思える気持と行動を引き起こす。

- ・ 周辺環境、自然災害、人的被害、事故には、十分配慮する。
- ・ 有用な通風、小雨、光、肌触りを活用し、エネルギーの効率をはかる。
- ・ 日々の心掛けメンテナンスで生きる材料の使用により、長期経済性をはかる。
- ・ 少しでも より近在から採取出来る材料で作る最終的に自らが土に帰る建物で
ありたい。

となりました。みなさんはどんなイメージ・感想を持たれましたか？

認定こども園しょうえい幼稚園新築のコンセプト

1、キリスト教保育と創造保育

神と人ともに愛されていることを知り感謝する
自らが遊び、自らを楽しみ、自らで創り出す世界

2、自然を感じる保育環境（ビオトープ）

自然・生物・環境との共生（運動場でなく自然の広場）
教室(お家)と教室(お家)を屋根つきデッキでつなぐ(小さな村)

3、絵本のある生活

不思議空間の絵本の部屋
子ども達が見つけるファンタジーや冒険を大切にする

4、心も環境もバリアフリー

統合保育、一人ひとりを大切に
落ち着いた保育室と楽しい廊下

5、光と影(明暗)・音と静けさ・色彩

騒音でなく鳥のさえずりのように
ステンドグラス

